



令和元年11月30日

新宿区立江戸川小学校

No. 653

学芸会で学ぶこと

副校長 森 信行

11月の学芸会には延べ528名の保護者・地域の方々が来校してくださいました。決して広いとは言えない会場でしたが、学年ごとの席の入れ替え等にご対応いただき、誠にありがとうございました。また、終演後の後片付けにも多くの方々からご協力をいただきました。特に江戸川小おやじの会の皆様には感謝の言葉しかありません。学校を支えてくださる方々のおかげで、子供たちは練習で培った力を発揮することが出来ました。また、事後のアンケートにもたくさんのご意見をいただきました。次回への参考とさせていただきます。

学芸会について調べると、とても歴史のある行事だということが分かります。現在では学習指導要領の中の文化的行事に分類され、「つくり出す」「発表し合う」「鑑賞し合う」等の活動の中に学習としての価値があります。特に「つくり出す」ことには一定の期間をかけます。意見や考えの出し合いや話し合い、助け合いや励まし合い等を通して子供たちは課題の解決に取り組みます。また、自己の役割を果たすことと、協働して共通の目標を達成することを通して、個人の尊厳と共に他者の尊厳を重んじることの大切さへの気付きも行事を「つくり出す」過程にあります。子供たちは準備の期間で様々なことを体験します。集団でつくり出す難しさや、それらを乗り越えるよさを実感しているからこそ、感動ができるのだと思います。

舞台上で演じるというのは普段の学校生活で常にある活動ではありません。よって困難に立ち向かいながら「すぐには出来なさそうな演技を努力して、出来るようになる姿」や「時には衝突をしながらも、一つのものを完成させようとする姿」には私たち教師も感動をします。

一方で感動は成功体験として蓄積され、どうしても「前回よりもよいものをつくろう」という心理が働きがちです。しかし、事後の感動を追い求めるあまり、本来の目的を見失ってはいけません。「感動」そのものが目的化しないように気を付けていきたいと思います。本来の教育的価値から外れ、それ以外の思いや願いが目的化されないように、今後も足元を見つめながら子供たちと学び続けていきます。

<校長談話室>

12月9日(月) 10:00~12:00

お一人でも、お誘い合わせでも、お気軽にどうぞ

連絡先 3266-1602 副校長まで

習熟度別指導について

算数習熟度別担当 原田 香

算数の授業では、教室と算数室に分かれて授業を行っており、各単元に入る前には、学習した内容の定着度を調査し、なるべく児童の希望に副えるようにクラス分けをしています。また、一人一人の個に応じた指導を心掛けて授業を行っています。それぞれの学習内容を確実に定着させ、日常場面と関連した内容を取り上げ、それを活用しようとする意識を引き出せるよう、助言をしながら学習を進めています。児童の説明する力の育成にも力を入れ、いろいろな場面で前に出て発表する活動を増やして行きたいと思っています。

